BOLT AND NUT WITH DISPLAY FOR SELF TORQUE MEASURING AND **FASTENING COMPLETION**

Patent Number:

JP1295015

Publication date:

1989-11-28

Inventor(s):

SUGII MITSUO

Applicant(s):

MITSUO SUGII

Requested Patent: JP1295015

Application Number: JP19880124775 19880521

Priority Number(s):

IPC Classification:

F16B31/02

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PURPOSE:To make a fastening torque optimum and to facilitate the confirmation of a fastening completion by fitting an outer frame part to the center part of a bolt and nut, and marking the upper faces of the both as well as stopping the relative rotations of the both by the stationary part cutting with specified torque. CONSTITUTION: An outer frame part 1 is fitted by providing a rotation stopper 5 to the center part 3 of a bolt and nut and a fixed part 2 is penetrated through the both. The fixed part 2 is cut with an optimum torque, the outer frame part 1 and center part 3 are rotated at the angle decided by the rotation stopper 5 and the marks 9 provided on the both upper faces are made coincident. The fastening can surely be done with an optimum torque, the fastening completion can be visualized with the coincidence of the mark 9 and a safe and sure fastening can be done.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 01295015 A

(43) Date of publication of application: 28.11.89

(51) Int CI

F16B 31/02

(21) Application number: 63124775

(71) Applicant:

SUGII MITSUO

(22) Date of filing: 21.05.88

(72) Inventor:

SUGII MITSUO

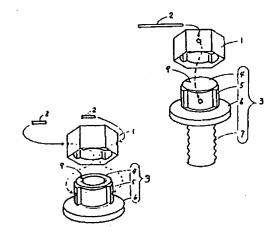
(54) BOLT AND NUT WITH DISPLAY FOR SELF TORQUE MEASURING AND FASTENING COMPLETION

(57) Abstract:

PURPOSE: To make a fastening torque optimum and to facilitate the confirmation of a fastening completion by fitting an outer frame part to the center part of a bolt and nut, and marking the upper faces of the both as well as stopping the relative rotations of the both by the stationary part cutting with specified torque.

CONSTITUTION: An outer frame part 1 is fitted by providing a rotation stopper 5 to the center part 3 of a bolt and nut and a fixed part 2 is penetrated through the both. The fixed part 2 is cut with an optimum torque, the outer frame part 1 and center part 3 are rotated at the angle decided by the rotation stopper 5 and the marks 9 provided on the both upper faces are made coincident. The fastening can surely be done with an optimum torque, the fastening completion can be visualized with the coincidence of the mark 9 and a safe and sure fastening can be done.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio



. 1-785615 f **2)**

® 日本国特許庁(JP)

⑩ 特 許 出 頗 公 開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成 1 年(1989)11月28日 weet that wide the first

- F 16 B 31/02

Z-6916-3 J

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

②発明の名称 自己トルク計量,締付完了表示付ポルト及びナット

②特 顧 昭63-124775

223出 願 昭63(1988) 5月21日

70発 明 者

夫

岡山県都窪郡早島町前潟734-11

井

夫

岡山県都窪郡早島町前潟734-11

1. 発明の名称

自己トルク計量、締付完了表示付ポルト及びナ

2. 特許請求の範囲

(1)イ. ポルト中心部(3)に外枠部(1)を取付

- ロ・外枠部(1)と中心部(3)に(1)部と(3)部の固定 部(2)をほどこす。
- ハ・中心部(3)と外枠部(1)に印をする。

以上の如く構成された自己トルク計量、締 付完了表示付ポルト。

(2)イ. ナット中心部(3)に外枠(1)を取付

- ロ. 外枠部(1)と中心部(3)に(1)部と(3)部の固定 部(2)をほどこす。
- ハ・中心部(3)と外枠部(1)に印をする。

以上の如く構成された自己トルク計量,締 付完了表示付ナット。

- 3. 発明の詳細な説明

ての発明は、ポルト及びナットに係るものであ り、詳しくはポルト及びナットの適正締付及び締 村確認が容易にできる装置に関するものである。 (従来の技術)

従来のポルト及びナットは締忘れや。トルクレ ンチを使用した場合でも、目もり合せ間違いなど で適正な締付がされていない場合があった。つぎ に締付確認の場合見た目だけでは確認ができず。 締付部をゆすったり再度工具をあて確認をしてい

(発明が解決しようとする課題)

従来の技術で述べたとうり、ポルト及びナット を適正トルクで確実に締付るという課題と締付完 了確認を容易にするという課題である。

(課題を解決するための手段)

上記課題を解決するために、本発明はポルト及 びナット自体を工夫をしたものである。以下その 構造についてポルト及びナットを同時に説明する ٤,

部(4)の箇所を圧縮し取付る。

ロ. 外枠部(1)と中心部(3)に(1)部と(3)部の固定部 (2)を通す。

ハ. 中心部(3)と外枠部(1)に印をする。

- (注)・固定部(2)の材質、太さ、数は個々のポルト及びナットにより異なり、締付適正トルクに応じて切断する強度のもの。
 - 第2及び6図の(5)の数は、ポルト及び ナットの種類により異なる。
 - ・第4及び8図の(8)の角度は、固定部(2) の太さなどにより異なる。
 - ・印(9)は赤色などの目立つ色にする。

(作用)

以上のような構造にすると、工具で締付けた場合適正な締付トルクがかかると、固定部(2)の第4及び8図の(1)の部分が切断し、外枠部(1)が第4及び8図の(8)の角度回転すると停止し第1及び5図の中心部(3)と外枠部(1)の上部の印(9)が一致する。この印(9)が一致することで締付が完全に行なわれた事になる。

(5)は(1)部回転止め 🕆

(6)は材料締付のためポルト(ナット)補強部

(7)はねじ部

(8)は(1)の回転角度

(9)は即

4 多相勝利 医部的工

10は固定部(2)の切断箇所

特許出願人

10 开网入

(発明の効果)

てれによりトルクレンチを用いなくても、素人ベテランの区別なくボルト及びナットを適正なトルクで確実に締ることができ、締付完了確認も目で見ることにより容易にわかり、より安全確実になるものである。使用場所としては、小さなミスでも大事故につながる場所などに適している。

第1図(5図)は本発明のポルト(ナット)の

斜視図

第2図(6図)は本発明のポルト(ナット)の

分解図

第3図(7図)は本発明のポルト(ナット)の

断面区

第4図(8図)は第3図(7図)のA-A'の簡 所を上から見た断面図

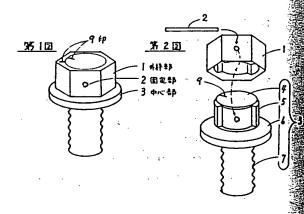
(1)は外枠部

(2)は(1、3) 固定部(トルク計量箇所)

(3)は中心部 (4.5,6,7)

(4)は圧縮部 (3に1を取付るため)

ポルト図面



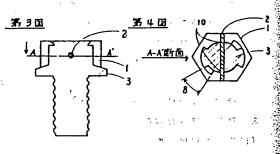
第 3

33 4

第 E 面図

> 3 f: 5 f:

面図 第 5 第 6



-106-

特開平1-295015(3)

手 続 補 正 啓(方式)

昭和63年9月26日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示 昭和63年特許願第 124775 号

. 発明の名称 自己トルク計量。締付完了表 示付ポルト及びナット

3. 補正をする者
事件との関係 特許出願人
住 所 岡山県都塞郡早島町前潟734-11
氏 名 杉 井 満 夫・(格)(京)

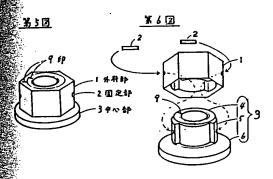
4. 補正命令の日付 昭和63年8月30日

補正の対象
明細書の図面の簡単な説明の欄

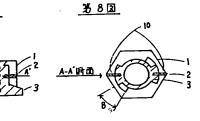
6. 補正の内容 別紙のとおり

特許庁 第3 9.28 生物第三面

ナット図面



为7团



| 図面の簡単な説明

第1図は本発明のポルトの斜視図

第2図は本発明のポルトの分解図

第3図は本発明のポルトの断面図

第4図は第3図のA-A′の箇所を上から見た断面

第5図は本発明のナットの斜視図

第6図は本発明のナットの分解図

第7図は本発明のナットの断面図

第8 図は第7 図の A ーA′の箇所を上から見た断

3 53

1は外枠部

2 は固定部

314中心部

4は圧縮部

5は一部回転止め

6は材料糖付のための補強部

7はねじ部

8は1の回転角度

9 11 83

10は2の切断箇所

BEST AVAILABLE COPY

り箇

2 1